

生きづらさ とは



あざれあ
図書室通信

No.105/2022.12

あなたと情報をリンク！男女共同参画をもっと身近に！

どうしてこんなに生きづらいのか。

「~らしさ」で育ち、「~らしさ」で終わる人生は、望んだ人生
なののでしょうか？

非常識が常識に

最後の講義完全版 これからの時代を生きるあなたへ

：安心して弱者になれる社会をつくりたい

(367.1/㊦・上野千鶴子・主婦の友社・2022年)

著者は、主婦としての母親の姿を見て、社会の構造に疑問を抱いたことから主婦研究者としてスタートしました。家父長制度から家事、育児、介護、看護が女性の負担になっていること、家事の不払い労働など、ずっと女性の幸せのために研究してきた著者だからこそその女性学・ジェンダー学の問題点や経緯がわかります。



痛いのはだれ

女性の生きづらさ：その痛みを語る（こころの科学）

(M/コ/20-1・信田さよ子 // 編・日本評論社・2020年)

女性の生きづらさを「痛み」からアプローチしています。家族（DV・虐待）、当事者（発達障害・依存症）、社会（貧困・暴力）、性別（被害者性・加害者性・LGBTQ）と、痛みを伴う生きづらさを多方面から分析し、なぜ女性であるが故に「痛み」を伴うのかをジェンダーの視点で考えます。



中年を楽しむ準備

女性の中年危機

：ミドルエイジ・クライシス（中年の危機）をチャンスに変える方法

(367.2/シ・スザンヌ・シュミット・ニュートンプレス・2021年)

女性の人生の変化において、「中年の危機」というのは大きな転換期であり、女性というアイデンティティが揺らぐときです。出産・育児を終え、いかに女性として、自分自身としての権利を社会で確立していくのか。発達論や女性の生き方に鋭く切り込んでいきます。



2022 新しいDVDが入りました



あしたの食卓



5月の花嫁学校



サンドラの小さな家



トーベ



ペトルーニヤに祝福を



燃ゆる女の肖像

WEBからも
リクエスト
できます



ジェンダーの視点で楽しむ

絵本

ぼくとマリナちゃん

(くすのきしげのり // さく 稲葉卓也 // え 東洋館出版社 2018年)



ジェンダー

「女の子らしく」と言ったことで、けんかになるユウトとマリナ。ユウトがおじいちゃんにけんかの事を話すとおじいちゃんは「なかよくするのに、男も女もかんけない」と言います。2人は学校でも、「男も女もかんけいなくななかよくしよう」と提案します。

あざれあコミックダイアリー

女はいつまで女ですか？：莉子の結論

(726.1/㌿ 上野りゅうじん KADOKAWA 2021年)

仕事優先で、家族にも妻にも無関心な夫。誕生日を忘れられた妻は、日に日に夫への不信感をつのらせます。仕事を始めれば、家事はどうするのかと責められ、スーパーの総菜を買えばもったいないと文句を言われます。そして、夫の携帯電話に残っている女性部下とのツーショット写真を見てしまいます。



おしえて！LGBTパネル展

LGBTをはじめとする性の多様性について理解を深めることを目的に、静岡県内の公共図書館を巡回するパネル展です。LGBTに関連する本の展示や、関連団体のリーフレットを配布しています。

日時：令和4年12月1日(木)～12月25日(日)
場所：あざれあ図書室

静岡県男女共同参画センター2階 あざれあ図書室

★開室時間★

平日 9:00～18:00、土日祝日 9:00～17:00

★休室日★

第1・3・5日曜日、図書整理日(12/26)、
年末年始(12/27～1/5)

★貸出★

図書・雑誌10冊、DVD4本 3週間

*貸出カードが必要です。現住所・生年月日を確認
できる証明書をお持ちください。

〒422-8063 静岡市駿河区馬淵1丁目17-1

TEL: 054-255-8763 FAX: 054-255-8759

MAIL: library@azarea-navi.jp

URL: <https://www.azarea-navi.jp/library/>